



(18)

(5)表

の木簡が出土している（未報告）。

〔庸カ〕

（5）の付札の内容は、長門国少目の事力が「庸カ」六斗を返送すると
いうのであろうか。長門国の等級は當時上国（甲）と推定でき
る（平野博之「長門国の等級について」『九州史学』七四）ので、少目に
公解田一町二段、その耕作にあたる事力が四人支給される規定であ
った。この木簡によると、事力の一部が銅の生産施設で使役された
実態が明らかとなり、施設内の労働力の編成が、雇匠丁・雇丁や仕
丁などのほか、さらに広範に復原されることになった。

（30）の天平二年は、長登出土の紀年木簡の時代幅、和銅四年—天平

五年間の中、新しい時期に相当する。
なお木簡の整理には、国学院大学大学院石崎高臣・京都大学大学
院竹内亮両君の協力を得た。

（1~7 池田善文、8 八木 充）

（1~7 池田善文、8 八木 充）

『木簡研究』在庫状況のお知らせ

頒 価	一~四号	品切れ	五~六号	三五〇〇円
	七~一二号	三八〇〇円	一三号	四三〇〇円
	一四~一五号	四五〇〇円	一六~二〇号	五五〇〇円
送 料	一冊	六〇〇円	二冊	八〇〇円
	四冊	一二〇〇円	三冊	一〇〇〇円
	一~二〇冊	五一〇冊	一五〇〇円	
		二〇〇〇円		

※個人購入の場合は代金前納です。代金と送料は郵便振替で
○一〇〇〇一六一五二七 木簡学会
までお送り下さい。

※大学・博物館などの公的機関の場合は代金後納です。銀行振
込か右の郵便振替でお願いします。

口座番号 第一勧業銀行西大寺支店

普通預金 一一〇三一五

口座名 木簡学会 佐藤宗諱（さとう そうじゅん）

連絡先 〒六三〇一八五七七 奈良市二条町二丁目九番一號

奈良国立文化財研究所

平城宮跡発掘調査部史料調査室 気付

電話 ○七四二一三四一三九三一（内二三九）
木簡学会